

平成 30 年春期 応用情報技術者試験合格発表 分析コメントと今後の対策

(株) アイテック IT 人材教育研究部 2018,6,20

4 月 15 日（日）に行われた平成 30 年春期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系 5 試験の合格発表がありました。同時に発表された得点分布などの統計データの分析をもとに、応用情報技術者試験の合格発表コメントをお知らせします。

■応用情報技術者試験（AP）

〔平成 30 年春期の応用情報技術者試験 統計情報〕

応募者	49,223 人
受験者	30,435 人
合格者	6,917 人
合格率	22.7%

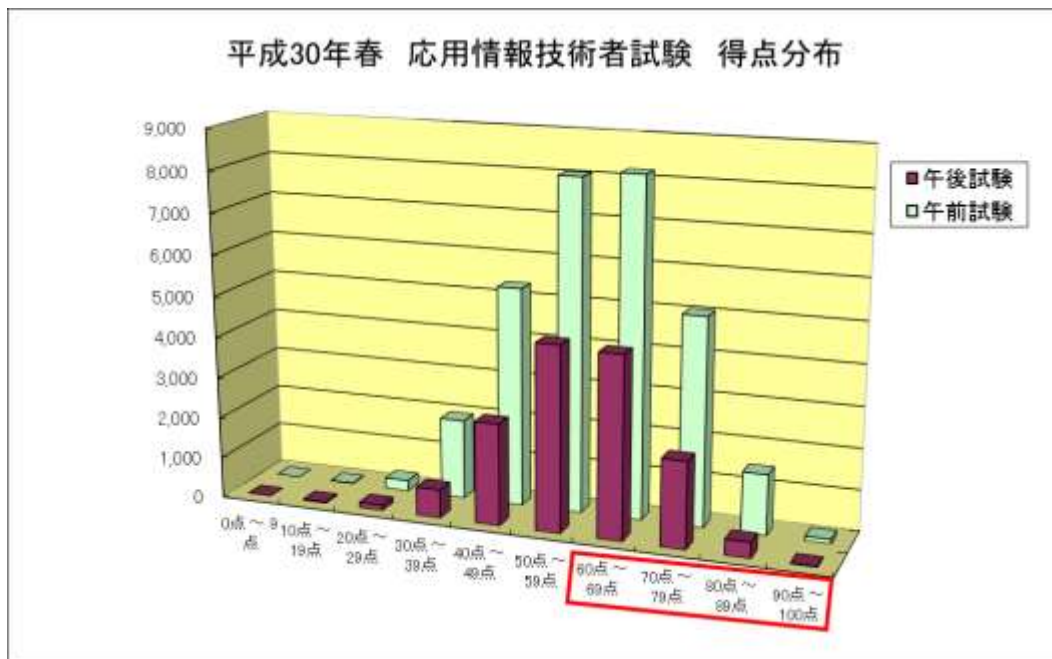
今回の応用情報技術者試験の合格率は 22.7%で前回の 21.8%よりも若干高い結果でした。平成 27 年秋期試験は 23.4%という高い合格率でしたが、それ以後、今回も含めて 20%を少し超える平均的な結果といえます。

次に発表されたスコア分布の分析とグラフを示します。

〔平成 30 年春期 応用情報技術者試験 スコア分布〕

平成 30 年春 AP	応募者	受験者	合格者
人数	49,223	30,435	6,917
率		61.8%	22.7%

得点	午前試験	午後試験	合格者
0 点 ～ 9 点	2	4	
10 点 ～ 19 点	17	32	
20 点 ～ 29 点	260	136	
30 点 ～ 39 点	1,951	698	
40 点 ～ 49 点	5,330	2,474	
50 点 ～ 59 点	8,048	4,489	
60 点 ～ 69 点	8,194	4,411	
70 点 ～ 79 点	5,052	2,099	
80 点 ～ 89 点	1,474	386	
90 点 ～ 100 点	107	21	
計	30,435	14,750	6,917
対前試験比率		48.5%	46.9%
合格者数	6,917	採点者数の割合	合格者数との差
午前 60 点以上合計	14,827	48.7%	7,910
午後 60 点以上合計	6,917	46.9%	0



今回の平成30年春期の午前試験では合格基準点の60点以上の人が14,827人で受験者の48.7%でした。前回の平成29年秋期試験は47.6%でしたが、若干ですが上がりました。

午後試験で合格基準点の60点以上を超えている人(合格者)は6,917人で、採点数の46.9%にあたります。前回平成29年秋期試験では46.0%だったので若干上がっています。

ボーダラインといえる得点結果の人について、午前試験で50点以上60点未満の人が8,048人(受験者の26.4%)、午後試験で50点以上60点未満の人が4,489人(同30.4%)と、どちらも全体の1/4以上の人があと10点で合格できるラインにいます。この得点ゾーンの方は合格まで“あと一歩”のところにいるので、苦手と感じる分野を中心に早めに次の試験対策を始めてください。

■平成30年春期 応用情報技術者試験 出題内容について

(午前問題)

- ・ 午前試験問題はここ数年、少しずつ難しくなる傾向があります。今回、考察問題と用語問題は減りましたが計算問題と文章問題が増え、全体としては前回と同様の難易度だったといえます。
- ・ 過去問題は全体の6割強で前回とほぼ同じです。また、応用情報技術者試験の過去問再出題は前回より8問多い35問でした。基本情報の過去問は9問、高度試験の午前Ⅱからの出題も9問ありあました。これらの問題は少し難しかったといえます。
- ・ 新傾向または新しい用語に関する問題は次のとおりで、前回よりも少なくなっています。なお、他の試験で過去に出ていてもAP試験で初めて出題された問題も含めています。

問1 AIにおけるディープラーニング

問26 ノード分割後のB+木構造

問30 NoSQLに分類されるデータベース

問32 ESTIで提案されたNFVに関する記述

問41 VDIサーバのセキュリティ効果を生み出す動作

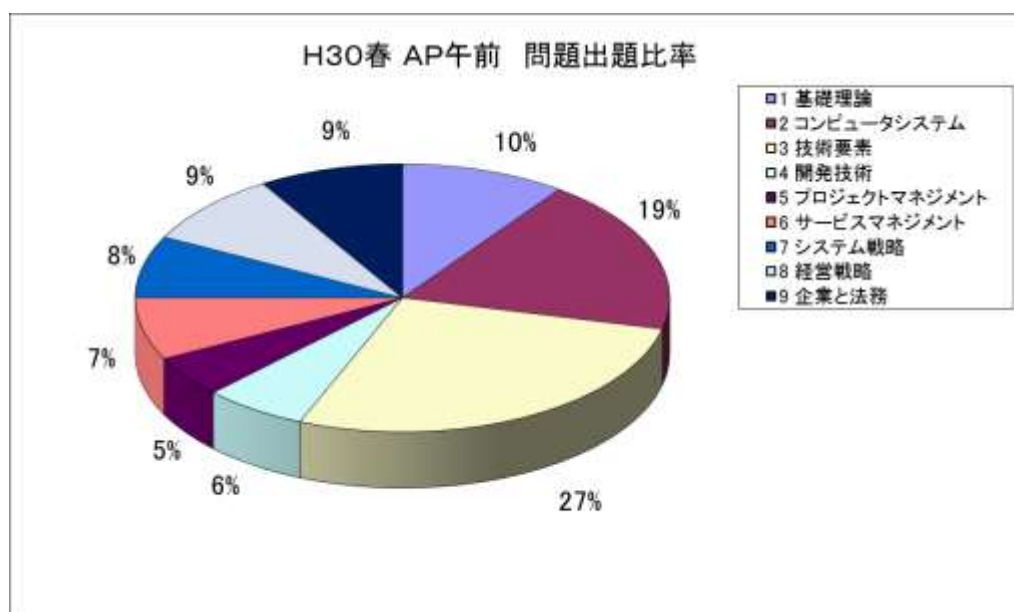
問45 TPMに該当するもの

問48 アジャイル開発でふりかえり(レトロスペクティブ)を行うタイミング

- 問 52 パラメトリック見積りの説明
 問 53 ISO 21500 における“プロジェクトチームの育成”の目的
 問 65 EMS の説明
 問 69 ターゲットリターン価格設定の説明
 問 71 “超スマート社会”実現への取組み
 問 80 資金決済法で定められている仮想通貨の特徴

- ・ 今回の問題内容で特徴的なことは、用語問題が（前回）16 問→（今回）8 問と半減していること、計算問題は（前々回）5 問→（前回）11 問→（今回）15 問と増加傾向が続いたことです。なお、文章問題は 42 問→49 問と増え、考察問題は 11 問→8 問で減っています。

30 年春期の応用情報技術者試験 午前問題出題比率



〔午後問題〕

今回出題された問題は、問 5 のネットワーク、問 6 のデータベースの問題がやや難でしたが、問 3 のプログラミングの内容は盤上の駒を動かすナイトの巡歴問題で、過去問で類似の出題もあり、設問は解答しやすかったといえます。

午後の試験対策としては、各問題の出題テーマに関連する午前試験レベルの知識を確実に理解し、問題事例に適用できるよう、しっかり演習を行う必要があります。

- 問 1 マルウェア感染への対応（情報セキュリティ） 普通
 問 2 事業戦略の策定（経営戦略） やや易
 問 3 ナイトの巡歴問題（プログラミング） 普通
 問 4 クラウドサービス（システムアーキテクチャ） やや易～普通
 問 5 Web システムの構成変更（ネットワーク） やや難
 問 6 備品購買システムの設計と実装（データベース） やや難
 問 7 児童の見守り機能付き防犯ブザー（組込みシステム開発） 普通
 問 8 プログラムの品質評価（情報システム開発） 普通
 問 9 ERP ソフトウェアパッケージ導入プロジェクト（プロジェクトマネジメント） やや易
 問 10 データセンタで行うシステム運用（サービスマネジメント） 普通
 問 11 システム更改プロジェクトの監査（システム監査） 普通

